

ikeekids コミュニケーション

病院理念：患者様に、心あたたかな医療を提供する。

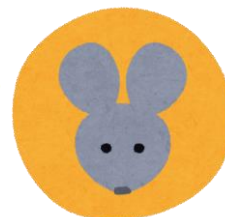
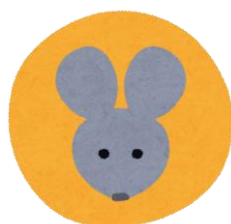
患者様に、質の高い最善の医療を提供する。

患者様の権利と責務

- 1) 平等で質の高い最善の医療を受ける権利
- 2) 患者様の安全が確保されている権利
- 3) 患者様の医療について情報が得られる権利
- 4) 患者様が治療など自らの意思で選択決定する権利
- 5) 患者様のプライバシーおよび尊厳が保たれる権利
- 6) QOL（生活の質）や生活背景に配慮された医療を受ける権利
- 7) セカンドオピニオンを求める権利
- 8) 病院規則を守り、他の方の療養や職員の業務に支障を来さないように配慮する責務



新年の挨拶



明けましておめでとうございます。昨年は徳仁親王殿下が第126代天皇に即位され、元号も令和に改まりました。今年令和2年、いよいよ新しい時代に入ったという感じです。

ところで、薬の歴史を紐解くと、8世紀初頭に編纂された「古事記」の大国主神の神話に「困廬の白兔」の話がでてきます。即ち大国主神が、傷を負った白兔に薬草(がまの穂)を使うことを教えて助けた話です。現代は、がんの特効薬のオプジーボに代表される素晴らしい薬が次から次に関発され、我々人類は確実に進歩を遂げているのです。しかし、地球上では未だに戦争が絶えず、貧困格差は益々拡大しています。そして、今年の子どもの出生数は30年ぶりの大幅減となり、90万人台を割る可能性が報道されています。

現在の子どもの子育て環境を見ていると、低出生体重児が多いこと、虐待の事件が増加していること、子どもの貧困化が拡大していること等があります。このままの状態が続くと「子育て環境不全」に落ち入りかねないと危惧しています。子どもたちを育てるための環境整備は、この1~2年が勝負だと思います。

子育ての環境を整備するといっても、様々な対応策がありますが、中でも一番の子育ての基本は、育ての親と子どもの絆をしっかりと形成することだと思います。即ち「愛着・アタッチメント」とはどういうことかを知り、確実に実行し続けることだと思います。

子どもが自信を持てるように良いところを褒めてあげること、そしてそのことが、子どもの将来において本人の「自尊心」と「アイデンティティー」の確立に繋がると信じています。

小さな行動の積み重ねが将来の人間形成に寄与する事を期待したいと思います。

院長 池田琢哉

★薬の飲ませ方★



粉薬の場合

《方法1》

- ① 小皿に粉薬 1 回分をあげ、数滴の水を加えて、ペースト状に練ります。
- ② 手をきれいに洗って、練った薬を指先につけ、口の中(上あごや頬の内側)に塗りつけます。
- ③ 最後に水をふくませて薬をのみこむようにしてください。

《方法2》

- ① 小さな容器の中に粉薬をあげ、少しずつ水を加えて、シロップ状(液体)にします。
- ② 溶かした薬をスプーンやスポイト、哺乳瓶の乳首を使って飲ませて下さい。(哺乳瓶によっては、乳首の穴が狭く、薬が出てこないことがあります。乳首を吸わせて、口の横から頬にスポイトで流しこむ方法もあります。)
- ③ 薬をのんだ後、口の中に薬が残らないように飲み物を飲ませて下さい。

《注意すること》

- ◇ 水に溶けにくい粉薬もあるので注意して下さい。
- ◇ 熱湯は使わないで下さい。温度が高すぎると薬が変化してしまうことがあります。
- ◇ ミルクを混ぜてのませると、味が変わり、ミルクを嫌うことがありますので注意して下さい。

《薬をのませるコツ》

ミルクを飲んだ後は、満腹になって薬をのまなくなったり、ミルクといっしょに吐いてしまったりすることがあります。お腹がすいているときやミルクを飲む前など、薬をのむタイミングをずらすこともひとつの方法です。

シロップの場合

- ① 容器を軽く振る。
⇒底の方に薬が沈んでいることや、薬が2層になっていることがあります。服用する前に軽く振りましょう。(激しく振ると、泡が立って正確に量れなくなるので注意しましょう。)
- ② 正確に1回量を別の容器やカップに量る。
⇒直接口をつけると雑菌が繁殖したり、1回量が正確に量れなくなったりします。
必ず別の容器を使いましょう。
- ③ 薬を飲んだ後は、白湯やミルクなどを飲ませて、お口の中に残っている薬をすべて飲ませてあげてください。
- ④ 使用したカップやスポイトなどは、洗ったあと乾燥させて、清潔に保ちましょう。

お子さんにあった方法で飲ませましょう

- ① **スポイトを使って**
 - ・きれいなスポイトで吸い上げて、赤ちゃんのほほの内側に少しずつ流し込みます。
まっすぐスポイトを入れると、咳き込んだりしてお薬を出してしまいます。
- ② **スプーンを使って**
 - ・量った薬を少しずつスプーンにのせ、口の奥のほうに入れます。
そのまま持っていれば、唾液と一緒に飲み込んでしまいます。飲み込んでから、また残りのお薬を飲ませて下さい。
 - ・1回にたくさん量の薬を入れないことがポイントです。
- ③ **哺乳瓶の乳首を使って**
 - ・まず乳首を口に加えて、吸うのを確認してから、お薬を少しずつ入れてください。
 - ・乳首を吸わせて、口の横から頬にスポイトで流し込む方法もあります。
- ④ **食べ物や飲み物に混ぜる**
 - ・離乳食がすすんできたら、食べ物や飲み物に混ぜることもできます。例えば、アイスやジュース、麦茶などがあります。
 - ・薬によっては相性の悪いものがありますので、その都度確認しましょう。
 - ・ハチミツは 1 歳未満の乳児に与えてはいけません。

童仁会 池田病院 薬剤部

育児サロンのご案内

2月15日(土)

14時半～16時

「マザーズコーチング」

講師：鮫島みずほ先生

※参加費無料

※要予約です

★詳しくはチックタック童夢館までお尋ね下さい

☎255-3737

★社会医療法人 童仁会 池田病院

住所 西田1丁目4-1 ☎252-8333

★診療時間★

平日診察時間 朝9:00～夜9:00

日曜日診察時間 朝9:00～昼1:00

受付時間は、朝8:00から診療終了30分前までです。

★予防接種と乳幼児健診★

月・火・水・木・金曜日です。

〈乳幼児健診〉 10:00

11:00

〈予防接種〉 13:00

14:00

15:00

※乳幼児健診の時間帯に予防接種も一緒に受けられます!

※予防接種・乳幼児健診・栄養相談は予約制です。

接種忘れはありませんか?

質問・ご相談等ありましたら受付または、お電話にてお尋ねください。



QJ005427509001-2008

